

公正取引

2021年4月

No.846

～ 競争の法と政策 ～

公益財団法人 公正取引協会

【随想】

| | | |
|----------------------|-------|---|
| 高速道路の歴史と今後 | 宮池 克人 | 3 |
| 第36回「横田正俊記念賞」の選考について | | 4 |

〔特集 確約手続の評価と課題〕

| | | |
|--|-------|----|
| 審査事件に係る確約手続の運用について | 十川 雅彦 | 8 |
| 〔公取委による令和3年2月末までの6件の処理を通じた確約手続の運用について公取委担当企画官による概要紹介〕 | | |
| 日本独自の運用に向かう確約手続とその是非 | 越知 保見 | 20 |
| 〔確約手続により終結した事例が本来の確約手続の運用の在り方に照らして適当なものであるといえるか等を考察した論考〕 | | |
| 確約手続の評価と課題 | 川島 佑介 | 28 |
| 〔確約手続が利用された案件を参照しながら、これまでの確約手続の運用に係る評価と今後の確約手続の課題等について考察した論考〕 | | |
| 確約手続の評価と課題—EUとの比較の視点から | 土佐 和生 | 36 |
| 〔EUと加盟国における確約手続の概要、評価及び課題等を概観するとともに、これとの比較を通じてわが国の確約制度に示唆した論考〕 | | |
| EUコミットメント制度の経験を日本の確約制度に活かせるか | 山田 香織 | 43 |
| 〔コミットメント制度を20年近く運用してきたEU当局の実務に考察を加え、施行から1年強経過した日本の確約制度が、その教訓をどのように汲み取っていけるのかを検討した論考〕 | | |

| | | |
|---|------------------|----|
| 国際執行協力に関する OECD/ICN 共同報告書の概要 | 照井 弓恵、堀 夏子、新宮 有貴 | 52 |
| 〔2021年1月に経済協力開発機構及び国際競争ネットワークが公表した「競争当局間の国際執行協力に関する OECD/ICN 共同報告書」について公取委担当官による概要紹介〕 | | |
| 企業価値を高めるコーポレートガバナンス(上)～持続可能な世界を創るために～ | 菊地麻緒子 | 59 |
| 〔コーポレート・ガバナンスとは何か、日本における課題は何か及びコーポレート・ガバナンスが独占禁止法コンプライアンスに示唆するものを検討した論考〕 | | |
| DIC株式会社による BASF カラー&エフェクトジャパン株式会社の株式取得に関する審査結果について | 小林 暁、藤本 元気、小林 由樹 | 66 |
| 〔公取委が令和2年12月24日に審査を終了した旨を公表した企業結合審査についての公取委担当官による解説〕 | | |

【事件解説】

株式会社ファミリーマート及び山崎製パン株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について 今井 啓介、廣田 一之 72
〔消費者庁が令和2年3月30日に景品表示法（優良誤認）で措置命令を行った事件の担当官による解説〕

【米国・EU独禁法判例研究】

第136回 医薬品市場におけるPay-for-Delayについて欧州司法裁判所が初めて考え方を示した事例—Generics事件欧州司法裁判所先決裁定— 近藤 直人 75
〔医薬品市場における先発医薬品企業およびジェネリック医薬品企業間の「Pay-for-Delay」と呼称される協定について欧州司法裁判所が欧州競争法上の考え方を初めて示した事例についての評釈〕

【記者の目】

独占禁止法の理念を伝える 田畑 佑典 83

【海外だより】

新型コロナウイルス感染症のUNCTAD事務局への影響 山本あかり 84

○公取委の動き 85 ○海外競争政策の動き 87 ○独占禁止法関係文献月報 92 ○公正取引協会のページ 93
